

【別紙】

作成する実践事例について

【作成する内容】

5つの要素〔①幼児期から児童期への学びの連続性 ②園小接続期の教育の質向上のための環境の構成や環境づくり ③接続を見通した教育課程の編成・実施 ④共に学び合うインクルーシブな保育・授業 ⑤園小接続のための連携・接続の体制〕を具現化した実践事例

【明確にすること】

実践校のエキス「子どもの捉え方、考え方、授業内容や園小連携・接続の取組」の見える化それを、下の様式を参考に書き表す（最終的に事例集にまとめ、県内へ還元する）

【ページ数】A4判で2枚以内

<様式>

テーマ	小学校名、園名
-----	---------

① 園小接続で大切にしていること

○幼児期から児童期の教育をどのようにとらえているか

② スタートカリキュラム

○幼児期に総合的に育まれた「見方・考え方」や資質・能力を、各教科等の特質に応じた学びにどのようにつなげていくか

③ 園小接続の取組の実際

○自校の園小接続の在り方を象徴する場面を事例としてあげる

- ・授業場面等
- ・環境の構成や教師の支援
- ・子どもの姿とそのとらえ
- ・学びの評価（どのような資質・能力が育まれているか）

等を記述

以下、小学校の特色に応じて項目立てする

④ 幼児教育や小学校教育についての理解を深める取組

○職員の資質・能力の向上のための取組（職員研修等）

⑤ 市町村全体での取組

○育みたい子ども像の共有、接続カリキュラムの作成等

⑥ 家庭との連携

○発達の連続性について、家庭への理解促進 等